令和２年度　松本保育園　「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

１．園の教育目標

「あいさつ」・・・あいさつや　けじめのある行動ができる子
「がんばり」・・・あきらめずに　自分のことが　自分でできる子
「なかよし」・・・友だちの気持ちが　考えられる子

２．本年度の重点目標

(ア) 卒園までに基本的生活習慣を身につける
(イ) お友だちや先生と元気な挨拶をする
(ウ) 散歩や園庭でたくさん遊び、自然に触れたり集団遊びを通して、体と心を育てる
(エ) 異年齢活動や地域とのふれあい活動を通して誰とでも仲良くできる優しい子どもを育てる
(オ) 友だちと思いや考えを共有し、一緒に工夫したり協力したりしながらやり遂げる子どもを育てる（協同性）

３．自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている
C…取り組んでいるが、成果が十分でない　D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	B
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	B
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	D
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	C
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	C
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

４．学校関係者評価委員(モニター)からの評価

教育目標、重点目標ともに、継続しておこなっていることなので身についてきていると感じる。C がついた内容について、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の為、行事の縮小や保護者・地域の方を招いての園公開や会議等、中止になってしまったものが多かったが、コロナ禍でも、子どもたちの安全を考えながら、様々な保育活動や運動会ができたことを評価していただいた。

５．今年度の総合的な園評価と次年度への課題

コロナウイルス感染拡大防止の為、行事の中止や・縮小、保護者を含めた園児以外の園への立ち入りを規制しながら過ごした１年でした。その為、職員の外部研修・園公開・PTA や外部との懇談会など、外部とのやり取りや、外部への発信が例年に比べ極端に少なくなってしまった。保育活動や園運営に関しても、年間の計画通りにはいかなかったが、１年間試行錯誤していく中で、今できる保育を精一杯行い、子どもたちを笑顔にすることができたのではないかと思われる。来年度も状況は変わらないことが予想されるが、コロナ対策をしっかりしながら、出来る事を出来る範囲の最大限で、子どもたちの笑顔の為に行っていきたいと考える。保護者に向けては、今年度行ったラーニングストーリーを継続して行い子どもの成長を伝え、地域の方々に向けては、地区の回覧板やホームページ等を利用し、子どもたちの笑顔をより多く発信できるよう工夫していきたい。